

浮世絵めりえ

歌川広重

「チヤレ」シリーズ

2020年8月
発行：大津市歴史博物館

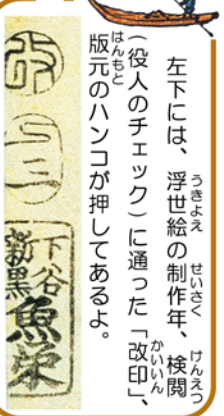
どんな絵なの？

この絵は「魚栄板 近江八景」の一つ「瀬田夕照」だよ。
歌川広重は近江八景がテーマの浮世絵をたくさん作っていたんだ。「魚栄板」というのは、現代の出版社にあたる「版元」のことで、「魚屋栄吉」が制作して販売した、ということだよ。
【瀬田夕照】は、夕日が照らす瀬田唐橋と周りの風景を、鮮やかな色で描いているよ。人や船がたくさん描かれていて、人・物の行き来が盛んな様子が伝わってくるね。向こう岸の高い山は近江富士(三上山)だよ。ちなみに、瀬田唐橋は、ことわざの「急がば回れ」の語源にもなっているんだ。詳しくは「矢橋帰帆」の記事を読んでみてね。



歌川広重「魚栄板 近江八景」瀬田夕照 安政四年(一八五七) 本館蔵

わく外の「印」は出版の「印」!



左下には、浮世絵の制作年、検閲(役人のチェック)に通った「改印」、版元のハンコが押してあるよ。

なにが書いてあるの？

上の雲にはテーマである「近江八景」「瀬田夕照」と、近衛信伊の和歌「露時雨 守やまとおくすききつ、ゆふひのわたる せたの長はし」が書かれているよ。
右下の赤い四角は「廣重画」は「広」の旧字体(昔の形)だよ。

一、浮世絵とは？
浮世絵は江戸時代の前期にできた絵画のジャンルだよ。描かれるテーマは暮らし、流行などで、白黒の墨絵から始まったんだ。のちに彩色がされるようになってカラフルになっていったんだよ。
一、歌川広重はどんな人？
歌川広重は江戸時代に活躍した浮世絵師だよ。日本の名所やきれいな風景を描く名所絵が有名で、広重の作品は日本だけじゃなく、海外でも人気だったんだ。ゴッホやモネといった画家達にも影響を与えているすごい人なんだ。



近江八景って？

近江八景とは、「近江国(現在の滋賀県)の美しい風景八選」を表す言葉だよ。もとは中国で詩や水墨画のテーマとして有名な「瀟湘八景」が一四世紀ごろに日本に伝わって、それから、琵琶湖と周りの風景を瀟湘八景になぞらえた作品が生まれたんだ。
現在の組み合わせは、近衛信伊(一五六五〜一六一四)が膳所城からの眺めをもとに選定したと伝えられているよ。後に和歌や俳句、絵画がたくさん作られて、名所としても有名になったんだ。また、近江八景ならではの特徴として、風景ごとの季節が設定されているんだ。

近江八景一覧	
秋	石山秋月
春・秋	瀬田夕照
春	粟津晴嵐
夏	矢橋帰帆
春・秋	三井晚鐘
夏	唐崎夜雨
秋・冬	堅田落雁
冬・春	比良暮雪

※表の順番は南から北

ぬりえができたなら、ツイッターに
#遊ぼう大津れきはく
のハッシュタグをつけて
ぜひ投稿してね!

